

# 巡回監査体制再構築PJ主催「初期指導③」

【日時】令和4年1月13日(木) 14:00~17:00

【会場】京都リサーチパーク

税理士法人 北浜・中西会計 水野 航

巡回監査体制再構築PJ研修会「初期指導③」を受講し、他の事務所の方々も私と同じような悩みを持っており、関与先への初期指導が必要不可欠であるということを改めて認識しました。私自身コロナ渦での入社でしたので皆が同じ会場に集まって研修を受けるという機会がほとんどありませんでした。あったとしてもWeb研修がほとんどで、面と向かって話す以上に本音がでにくいような環境だったと思います。そんな中今回は1組4~5人ほどのグループに分かれての対面での研修となりました。私のグループには4人おり、私ともう1人の方が比較的事務所経験が浅く、残りの2人が事務所でもベテランのポジションにいる方のように、非常にバランスのとれたグループ編成で意義ある話ができたと感じています。

今回の研修では前回までの振り返りと初期指導を実践してみて成功事例や失敗事例、また課題や解決策などを中心に話し合いました。私自身の関与先では思った以上に初期指導が進んでおらず、記帳代行から抜けだせていないのが現状でした。正直に申し上げると今まで私自身が初期指導の必要性を理解していなかったと思います。仕事を覚えるのに必死で初期指導をする余裕なんてないという考えで、自分の中で優先順位を下げていたと思います。

今回初期指導ができている方の話を聞いて感じたことは、私とその方に大きな違いがあるとすれば初期指導の必要性を感じているかどうかの違いだと思いました。その方も決して業務に余裕があるわけではないが、自分自身や関与先の為にも初期指導が必要だからやっているという事でした。その話を聞いていかに自分の考えが甘いかを思い知らされました。初期指導を実践して自計化の関与先が増えればその分業務の効率化ができ時間短縮に繋がり余裕ができます。その余った時間を社長との会話に充てることもでき、メリットの方が圧倒的に大きいのです。

これまでは自分自身の中でなぜ初期指導が必要なのかを本当の意味で理解していなかったと思います。初期指導を関与先にするにしても、先輩や上司が初期指導をやるように言っているからやっておこうかぐらいの、やらされている気持ちでいたと思います。そのため必要な関与先の初期指導も進まず、中途半端な初期指導になっていました。今回の研修を受けて自分自身の考えを改める必要があると感じました。今後は自ら積極的に初期指導を進めていき初期指導を通じて関与先と信頼関係構築を目指します。

